

パプアニューギニア国立ソゲリ高校教師陣の日本訪問

ソゲリ国立高校校長 キベ・ケレレンボ

ソゲリ国立高校は今年から科学技術高校となりました。そこで、日本から学ぼうと考え、教育省の推奨も得て来日しました。学校法人仙台育英学園と姉妹校関係を締結し、同校から日本語教師が派遣されている関係で、学校法人仙台育英学園秀光中等教育学校の視察を旅程のメインとして 3 月 16 日から 26 日まで日本に滞在しました。参加者は数学、理科、情報通信の各部門長と校長の私です。

成田空港に着くや、空気は寒く、震えがきました。17 日は東京の台場などへ行きましたが、ごみ一つ落ちていない美しさと人々が時間に正確に行動してい



り国立高校と姉妹校協定を締結しました。この鎮魂碑は我々の交流の原点でもあります。平成元年に建立されたこの鎮魂碑は、「令和」に入っても、我々の「交流」を見守り続けるでしょう。22 日は文部科学省に訪問を受入れて頂き、来年度実施の数学と理科の「新学習指導要領」について説明を受け、討議しました。23 日に新幹線で京都へ移動し、24 日には、奈良先端技術大学院大学の R. クラ准教、京都大学修士課程の修了を翌日に控えたソゲリ卒の J. エベラという 2 人の PNG の若者に会えてとても誇りに思いました。

日本滞在中最終日の 25 日、京都大学に、カリキュラム研究で著名な西岡教授を訪問し、「日本の教育改革の最新動向」を拝聴しました。その後、スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクール指定を受ける京都市立堀川高校を訪問し、同校における「探究基礎」の取り組みについて知見を深めました。

26 日午前、関西国際空港からマニラへ向かい、日本を後にしました。今回の日本訪問にご協力頂いた全ての皆様に心より感謝致します。とりわけ、日本訪問を承認して下さいた教育省次官と関係者、温かいおもてなしを賜った姉妹校学校法人仙台育英学園の加藤雄彦理事長とスタッフの皆様、プログラムをアシストして下さった中嶋大使と大使館スタッフの皆様。今回の旅は生涯忘れ得ぬ経験となりました。あと一週間日本に滞在して満開の桜を堪能できればなお良かったのですが・・・。



3 月 21 日、瑞巖寺の「鎮魂碑」と筆者

3 月 20 日、仙台育英学園宮城野校舎講堂で加藤雄彦理事長と
受けました。「PNG タイム」に象徴される PNG の人々の態度や PNG の汚れた街並みとは何と違うことでしょう。
18 日は東北新幹線「こまち」で仙台へ。仙台には 22 日まで滞在しました。その間、学校法人仙台育英学園秀光中等学校で実施されている国際バカロレアプログラムの化学と数学の授業見学、教師同士の意見交換ができました。塩釜から松島のクルージングでは船長の完璧なガイドが最高でした。温泉も経験し、体内の血が沸騰してくるような感覚に圧倒されました。
21 日には瑞巖寺境内の「故加藤榮吉海軍大佐外 4,444 柱鎮魂碑」を訪れました。学校法人仙台育英学園の加藤雄彦理事長が PNG との国際交流を決意した原点がここに 있습니다。加藤理事長の祖父である加藤榮吉海軍大佐は戦争中、ブカ地区警備第 87 警備隊指令として PNG に滞在しました。その縁により加藤理事長は PNG との国際交流を決断され、そしてソゲ

り国立高校と姉妹校協定を締結しました。この鎮魂碑は我々の交流の原点でもあります。平成元年に建立されたこの鎮魂碑は、「令和」に入っても、我々の「交流」を見守り続けるでしょう。

22 日は文部科学省に訪問を受入れて頂き、来年度実施の数学と理科の「新学習指導要領」について説明を受け、討議しました。23 日に新幹線で京都へ移動し、24 日には、奈良先端技術大学院大学の R. クラ准教、京都大学修士課程の修了を翌日に控えたソゲリ卒の J. エベラという 2 人の PNG の若者に会えてとても誇りに思いました。

日本滞在中最終日の 25 日、京都大学に、カリキュラム研究で著名な西岡教授を訪問し、「日本の教育改革の最新動向」を拝聴しました。その後、スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクール指定を受ける京都市立堀川高校を訪問し、同校における「探究基礎」の取り組みについて知見を深めました。



3 月 25 日、京都大学大学院西岡加名恵教授と訪問団

26 日午前、関西国際空港からマニラへ向かい、日本を後にしました。

今回の日本訪問にご協力頂いた全ての皆様に心より感謝致します。とりわけ、日本訪問を承認して下さいた教育省次官と関係者、温かいおもてなしを賜った姉妹校学校法人仙台育英学園の加藤雄彦理事長とスタッフの皆様、プログラムをアシストして下さった中嶋大使と大使館スタッフの皆様。今回の旅は生涯忘れ得ぬ経験となりました。あと一週間日本に滞在して満開の桜を堪能できればなお良かったのですが・・・。



3 月 25 日、京都市立堀川高校教師陣と訪問団

第14回「Toktok 会 (PNG を語ろう会)」のご報告 (2019年3月7日。於、霞山会館)

「パプアニューギニアの文化と祭り ～ハダシの学者 西江雅之先生の足跡を中心に～」

協会事務局

パプアニューギニアの多様性に魅せられて

幼い頃から、身のまわりの動物たちの暮らしに強い関心を持ち、彼らと友達になりたいと修業をつんだ文化人類学・言語学者の故・西江雅之先生。子ども時代の関心は、やがて人間の言語やコミュニケーションの問題へとつながっていき、東アフリカからインド洋諸島、カリブ海域そしてパプアニューギニアまで、フィールドワークの旅を続けられました(元当会会員でもありました)。作家の開高健氏が西江氏を称して「37ヶ国語ペラペラの天才や」と言っていたように、多数の言語を操り、現地の人びとに溶け込んでいく研究スタイルで知られ、研究書だけでなく、美しいエッセイや写真(西江氏の写真集『顔!』は、マウントハーゲンショを撮影したものです)を多数残されています。そんな西江氏の弟子の一人である文化人類学・民俗学者加原奈穂子先生から、恩師のご紹介とパプアニューギニアでの研究の一端をご披露いただきました。

パプアニューギニアは、20世紀初頭にトロブリアンド諸島でのフィールドワークを行ったB.K.マリノフスキーをはじめ、文化人類学の重要な研究が行われてきた場所であり、一度は訪れてみたい憧れの土地であるとのこと。また、言語面から見ても、世界有数の多言語国(約800言語)であり、また、話して通じないくらい異なる2つ以上の言語が接触した際に形成されることがありうる「ピジン・クレオール諸語」に属する tok-pisin や hiri-motu がみられ

るなど、興味深い点が数多くあります。西江氏は、ピジン・クレオール諸語に関する日本の先駆的な研究者であり、tok-pisin にも強い関心をもっておられました。

加原先生自身もパプアニューギニアに魅せられ、トロブリアンド諸島やハイランドのマウントハーゲンなどをご訪問されました。その際の映像などを交えながら、マリノフスキーの研究で知られる「クラ」(トロブリアンド諸島を中心とする広大な海域で行われてきた伝統的取引)やオマラカナ村での出会い、マウントハーゲンショの様子などをご紹介いただきました。特にマウントハーゲンショでは、2005、2006年に訪問された際の様子と2018年に再訪された際の様子とを比較され、祭りの変化や見どころ、歴史的な意義などをご紹介いただきました。豊富な写真と映像で大変わかりやすい、あっという間の80分のご講演でした。

加原 奈穂子 (かはら なほこ) 氏

岡山県岡山市生まれ。専門は文化人類学・民俗学。

早稲田大学大学院文学研究科博士課程を経て、現在、早稲田大学、明治大学、東京芸術大学などで教壇にたつ。2006年度岡山民俗学会賞受賞。共著『桃太郎は今も元気だ』、『珊瑚の文化誌』(2008年度第28回寺田寅彦賞)、翻訳書に『アメリカの空へ』などがある。

伝統の観光活用に関心をもつ。パプアニューギニアの自然と人びとに魅せられて、その多様な文化の魅力を伝えたいと考えている。2018年刊行の西江雅之写真集『顔!』(マウントハーゲンの祭りで撮影されたもの)の企画・解説などを担当した。



中嶋 敏（駐パプアニューギニア特命全権大使）

3月に日本のODA事業であるラム系統送電網強化計画起工式とポートモレスビー下水道整備計画引渡式が行われましたので、その様子をご紹介します。

【ラム系統送電網強化計画起工式】

3月13（水）、モロベ州マーカム地区シンシン変電所建設予定地でラム系統送電網強化計画の起工式が行われました。

パプアニューギニアの電力需要は今後ますます増加することが予想されていますが、施設の老朽化や発電・送電容量の低さ等により、電力供給の安定が課題となっています。本事業は、PNG第2の都市であるレイ市につながるラム系統送電網の既存送電線の複線化と変電所等の新設と改修により、レイ及び周辺地域への電力供給を安定させることを目的としています。

式典にはサム・バシル通信情報技術・エネルギー大臣（当時）に加え、モロベ州選出の国会議員2名、ジョー・カパ国家計画省副次官、ピーター・ヌビリ PNG 電力公社会長及び遠山峰司 JICA パプアニューギニア事務所長など多数の関係者が出席しました。式典会場は集まった千人を超える地元住民の喜びと熱気に包まれました。

バジル大臣はスピーチの中で、このプロジェクトによるモロベ州の産業発展と住民の生活向上への大きな期待と共に、日本のこれまでのパプアニューギニアへの数々の支援に謝意を述べました。

私からは、このプロジェクトがレイ市及び周辺的生活改善、産業発展だけでなく、パプアニューギニア全体の発展にも貢献するものであり、更に昨年11月のAPEC首脳会議でPNG、日本、オーストラリア、米国、ニュージ



ランドの間で署名された「PNG 電化パートナーシップ」を推進するプロジェクトであると述べました。

【ポートモレスビー下水道整備計画引渡式】

3月26日（火）には、ポートモレスビー市南部ジョイスベィでポートモレスビー下水道整備計画の引渡式が行われました。本事業の内容については本誌第61号で紹介しましたので、今回は引渡式の様子をご紹介します。

式典にはウィリアム・デュマ国営企業・投資大臣、クムル統合公社ダレン・ヤング社長、ウィリアム・スウィート水道公社（Eda Ranu）理事長、サミュエル・コニー国家計画省次官、遠山峰司 JICA パプアニューギニア事務所長、大日本土木・馬場義雄社長、日立製作所水道事業部・岡野邦彦部長など100名を超える関係者が出席しました。

デュマ大臣はスピーチの中で、太平洋島嶼国で初となる下水処理施設の完成は、PNGと日本の固い友好関係の象徴であり、日本政府に感謝したいと述べました。

私からは、本事業はポートモレスビー市民の衛生環境を改善し、きれいな海と海岸を守り、ポートモレスビーの観光イメージを大きく向上させるだろうと述べました。



記念碑前に立つ関係者、左からヤング・クムル統合公社社長、デュマ大臣、本使、遠山 JICA 所長、スウィート水道公社理事長、大日本土木馬場社長、N J コンサルタント藤川社長



完成した下水処理場を視察するデュマ大臣と本使

駐日 PNG 大使館情報

2019 アジア婦人友好会チャリティバザー

今年も4月10日にインターコンチネンタルホテルにてアジア大洋州24か国による、アジア婦人友好会のチャリティバザーが開催されました。

今年も多く企業の皆様、協和海運様、NBK（南洋貿易）様、南洋開発様、丸紅様、小杉造園様、太平洋セメント様、SGI インターナショナル様、また多くの個人の皆様より福引券と入場券のご購入によるご寄附をして頂きまして誠にありがとうございました。Bird of Paradise Ladies 会の皆様にも終日お手伝い頂き成功裏に終わりました。

皆様のご協力誠にありがとうございます。

今年のバザーの売り上げ金は PNG Embassy としてアジア婦人会に提出致しましたのは、

Door Tickets	198枚	396,000円
Raffle Tickets	202枚	101,000円
Handi Craft	売り上げ	90,100円
Food	売り上げ	67,280円
Total		654,380円

でした。

Food ブースでは Yabon 臨時代理大使が PNG より手持ちでコーヒーを大量に買って頂き、また町田ライオンズクラブ

の志村様のご協力によりコーヒーを販売することができました。もし皆様の中で Handi Craft など、これは！と思われるものを現地で購入して持ち帰って頂ける方があれば是非お願い致します。来年のバザーの販売品とさせて頂きたいと思います。

6月10日にパキスタン大使館にて Check Sharing Ceremony という収益金の配分式がありますが、その収益金の PNG への寄付は、Yabon 臨時代理大使より、今年、Madang にある Central Bargam Technical Institute という学校の仕上げの建設費に充てられる予定になります。詳細はまた次回のコラムにてご紹介致します。



日本・パプアニューギニア協会 法人会員紹介 第55回「みなさん、こんにちは」

株式会社ロジスティックス・サービス

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 4-2-10
TEL: 042-444-7170 FAX: 042-444-7171 <http://www.logistics-s.co.jp/>

日本・パプアニューギニア協会の皆様こんにちは。
株式会社ロジスティックス・サービスと申します。

弊社は食品専門の運送会社です。
軽冷蔵車(全国で約 600台)にて、肉、魚、野菜、麺など、様々な食材をレストラン、料亭、ホテルなど、あらゆる飲食施設に配送するサービスを行っています。

現在の日本は、運送業界も深刻な人手不足の波に直面しており、今までのやり方が全く通じない時代となりました。弊社では、経済はもちろん大事ですが、古き良き昭和の中小家内工業的な経営手法にならない、「つながり」や「連帯感」を重んじ、「人間が人間らしく楽しく生きられる会社」を目指して、日々精進して参ります。会社で「麻雀」「ゴルフ」「釣り」「競馬」「ゲーム」など様々な趣味を満喫共有できるコミュニティー作りには特に力を入れてまいります。



ロジサービス

次に弊社の関連会社のご紹介をさせていただきます。

農業生産法人 株式会社北星ファーム

■〒076-0014
北海道富良野市市上五区
■TEL: 0167-23-2558
■FAX: 0167-23-2559

冬、雪が真っ白に街を覆う季節。パウダースノーを求めて多くのスノーボーダーやスキーヤーが集まる富良野。この時期からメロン作りは始まります。雪に埋ったハウスの雪掻き。腰くらいに積もった雪を投雪機で飛ばす作業から農家の1年が始まります。3月後半の定植に向けてマイナス気温の中のハウス掛けそして4重にも重ねたハウスの内部と寒さの中での作業が続きます。

そして定植。毎日管理される温度。苗の成長による10回は超える苗の新芽摘みと作業が続いて行きます。

24棟のビニールハウスの全ての定植が終わるのが5月中旬。作業を重ねながら7月の観光農園のオープンを迎えます。

観光農園はメロンの食べ放題やとうもろこし狩り・ミニトマト収穫体験など様々な農家体験ができ直売所では様々な商品を買う事が出来ます。また納屋ロッジでは宿泊をする事もでき夏の星空を見ながら8月末の閉園まで楽しむ事も出来ます。

北星ファームは農業と観光を融合した農家です。



北星ファーム

ペンションやまさん

■住所 〒071-0704 北海道空知郡中富良野町基線北13号
■電話 TEL:0167-44-2337
■http://www8.plala.or.jp/p-yamasan

目前に広がる素晴らしい景観と、地産地消の真心込めた美味しいお食事で出迎え!!



yamasan

夏は「やま山」グループ農場の北星ファームにて「富良野メロン食べ放題」「とうもろこし・ミニトマトの収穫体験」等も楽しんで頂けます。

お食事は、北星ファームで生産される旬の野菜と富良野・北海道の食材を中心に、安心して安全・素材の良さ・美味しさを召し上がって頂けますよう努力しております。

森に囲まれ、小鳥・小動物を見ながらの早朝散歩コースも充実しておりますので是非お試し下さい。誰も知らない撮影ポイントも多数あり喜んでいただける事と思います。

富良野 mount villa

■〒076-0035
北海道富良野市学田三区 4746-21
■TEL 0167-56-7518
■http://furano.mt.villa@gmail.com/



富良野 Mount Villa

富良野 mount villa の高倉と申します。宿泊施設のご紹介をさせていただきます。

富良野 mount villa は北海道富良野市にあり、大雪山系十勝岳連峰、芦別岳、夕張岳など雄大な山々を望む豊かな自然に囲まれた街です。

夏はラベンダーをはじめ花々が広大な土地一面に咲き、パープル・ピンク・イエローのカラフルなカーベットのようで圧巻です。ラフティング、カヌーなどアクティビティも楽しめたり、熱気球にも乗る事ができます。また、冬は最高の雪質パウダースノーを求めてスキーヤー・スノーボーダーが訪れます。

お部屋は全室禁煙、WiFi無料、専用バスルーム(トイレ別) キッチン冷蔵庫、電子レンジ、調理道具がございます。地元の新鮮な食材で家族ゆっくりと食事する事もできます。またツインルームバルコニー付のお部屋からは山の景色を望むこともできます。また、サービスとして朝食はグループで運営しているcafé rokuにて無料でご用意いたしております。夕食は敷地内側の屋外にてバーベキュー(有料予約制)ですが、ご用意できます。

おうちのようにゆったりとした空間で長期滞在もでき、富良野を存分に堪能できます。

富良野 mount villa の周辺にはアクティビティが楽しめる「遊び屋」、「富良野スキー場」ラベンダーやお花の「富田ファーム」「あおい池」メロンが食べられる農業体験ができるグループで運営している「北星ファーム」があります。

ぜひ一度は富良野にお越しください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

事務局からのお知らせ

令和最初の「ごくらくちょう」をお届け致しました。令和も協会をよろしく願いいたします。

総会開催のお知らせ:

令和元年度の総会を6月18日に東京虎ノ門の霞山会館にて開催いたします。総会は11時から開催、その後12時から懇親会となります。皆様のご参加をお待ち致します。詳細は別途ご案内申し上げます。

本年度もメルマガの発行、ごくらくちょうの発行、奨学金貸与、そして訪問団の派遣など例年通り頑張っておりますので皆様のご協力をお願いいたします。お待たかねの派遣団は9月12日発17日帰りで、ゴロカのシンシン満喫の旅を予定しております。ご期待ください。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っています。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員: 28社 ◆ 個人会員: 125名 (2019年5月10日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン(株)内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方へぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 法人会員60,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ